

大河伝承譜

第114号

発行日
令和5年11月

発行

新潟県立長岡農業高等学校
PTA広報委員会

〒940-1198
長岡市曲新町3-13-1
TEL(0258)37-22266

(題字:3年 吉岡 咲良)

命を育む長農



PTA会長
猪井 真紀

日頃よりPTA活動にご理解・ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

今年の五月に新型コロナウイルス感染症が二類から五類へ移行され、活動制限が緩和されたことにより、今年の体育祭では子ども達から若きパワー漲る闘志を感じることができます。新たな生活様式の中ではありますが、今後もできる限りコロナ前と同じように行事等が行われることを願うばかりです。

さて、長岡農業高校は他では経験のできないような授業や実習がたくさん用意されています。自然や動物、植物に触れる機会の多い実習をとおして人間の根底にある生きる力、「生きる！育てる！」意欲が育ちやすい環境にあると思います。学校に行きますと、生徒から「こんなにちは」と元気な挨拶があり、農場では作物の作業をしている子ども達の目がキラキラしています。こうした実習をとおして学ぶことにより、自信と力強さが身に付き、これから成長にもつながっていくのではないかと思います。また、青年期の後期である高校生の子ども達は、大人になっていく過程で最も大切な時期を迎えていきますので、農業体験やそれぞれのコースでの高校の三年間は人生の糧となり、これから的人生の中できつと役に立つことでしょう。

今年も四月から、田植えをはじめ、さまざまな活動を経て、収穫感謝祭、長農祭を迎えることができました。これからも、日本四季の訪れを感じながら、実習やイベントをこなす子ども達のワクワク感と輝きを保護者として見守っていきたいと思います。最後になりますが、今後ともPTA活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

長岡農業高等学校、二年目になります校長の村山和彦と申します。どうぞよろしくお願いします。

今年の夏は、気象庁の観測では、県内においても記録的な暑さとなり、八月の平均気温は県内二十八観測地点のうち、長岡市や新潟市中央区、三条市など九地点で観測史上初めて三十度を超える専門家が「異常な夏」と指摘するよう、県内全域で異例の高温でした。統計を取り始めた一九四六年以降で最も暑い夏だったと気象庁は発表しています。高温、日照が続き、八月には、当地長岡市が全国の最高気温を観測する日があり、非常に暑い八月でした。暑い夏でしたが、生徒のみなさんは実習と部活動と進路の準備等、一生懸命頑張った夏季休業だったと思います。

さて、長岡農業高校は他では経験のできないような授業や実習がたくさん用意されています。自然や動物、植物に触れる機会の多い実習をとおして人間の根底にある生きる力、「生きる！育てる！」意欲が育ちやすい環境にあると思います。学校に行きますと、生徒から「こんなにちは」と元気な挨拶があり、農場では作物の作業をしている子ども達の目がキラキラしています。こうした実習をとおして学ぶことにより、自信と力強さが身に付き、これから成長にもつながっていくのではないかと思います。また、青年期の後期である高校生の子ども達は、大人になっていく過程で最も大切な時期を迎えていきますので、農業体験やそれぞれのコースでの高校の三年間は人生の糧となり、これから的人生の中できつと役に立つことでしょう。

今年も四月から、田植えをはじめ、さまざまな活動を経て、収穫感謝祭、長農祭を迎えることができました。これからも、日本四季の訪れを感じながら、実習やイベントをこなす子ども達のワクワク感と輝きを保護者として見守っていきたいと思います。最後になりますが、今後ともPTA活動にご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

本校においても、発酵・醸造の街、宮内・揖田屋地区の企業と連携し、「Snow Food Nagaoka」ブランド協

長岡農業高等学校、二年目になりました。吉乃川、割烹わだの、ほんしゅ館、江口だんご様」と連携して、様々な地域連携活動を実践しています。一例をあげると、スノーブランド協議会の協賛企業様の協力を得て、長岡野菜の豆は、通常えだまめとして食しますが、それを味噌に加工する取り組みを行いました。また、「結」プロジェクトとして、本校の作物生産コースが生産した酒米「五百万石」を本年度は、「長谷川酒造様」にお願いして日本酒にして頂く予定です。「エコ・ライス新潟、山崎醸造、小国和紙、長岡造形大学」をはじめ地域の方々の多大な援助があり、生徒が探究的な教育活動を実践していくことができるることを大変、感謝しております。

このような探究活動をみなさんにとってもらうために現在、準備を進めているところです。新潟県教育委員会がnote株式会社（東京都千代田区）と連携協定を締結したことにより、情報発信サービス「note pro」が無償で提供されることになりました。note株式会社の「note pro」等を利用することで、長岡農業高校の日々の教育活動に係る情報を、生徒、保護者、地域の方々に発信できるよう、鋭意努力してまいります。準備ができ次第、別途案内をいたしますので、よろしくお願いします。

最後に、長岡農業高校の教職員一同、「ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望を持って粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていく、たくましいひとづくり」を目指し、精一杯指導してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

宮内・揖田屋から始まる地域連携

校長 村山和彦



▲長岡農業高校
noteはこちら

体育祭

6/8



団長になって感じたこと

緑軍団長 保坂 幸

私は体育祭を通して人をまとめるには計画を立てる必要だと感じました。私は計画を立てる非常に苦手です。そのため何度も軍の皆さんを困らせました。しかし、みんなが協力してくれたおかげで最高の体育祭になりました。体育祭に関わってくれた方々本当にありがとうございました。



青軍のみなさん、ありがとう

青軍団長 澤田 晴音

団長をやってとても楽しかったです。楽しい体育祭にできたのは青軍のみなさんのおかげだと思います。それは、先生を含めて全員のおかげです。ありがとうございました。青軍のスローガンを日本語になると人生はバラ色です。青軍のみなさんの人生がバラ色でありますよう願っています。



体育祭で経験したこと

黄軍団長 坂詰 菜純

一番大変だったことは、毎日のお昼休みのパフォーマンス練習です。今年は団員全員がパフォーマンスにでなければいけなかつたので人数が多く大勢の人に指示を出すことが大変でした。しかし、体育祭当日には全員で楽しくダンスを踊ることができ、とても良い思い出になりました。



農各コースの取り組み

生活デザインコース

生活デザインコースの3年生課題研究では、野菜栽培からその利用方法・オリジナルレシピの作成、栽培した草花を利用したクラフト作りなどを行っています。2年生は各種野菜やハーブの栽培と利用、コケ玉作成などに取り組みました。また、2・3年生とも家庭科食物調理技術検定の取得に挑戦しました。



食品加工コース

春からコロナ禍前に戻りつつある中、5月に長岡市民防災公園での長岡市花いっぱいフェアで販売を行いました。

2学期からは、ハイブ長岡で開催されるながおか農業まつり、さらに重要な長農祭に向か、まず酒饅頭の製造から始めました。次はビスケットやマドレーヌの製造を繰り返し行っています。



作物生産コース

3年生の課題研究では、「マガモを利用した付加価値米の生産」「酒粕を使用した酒米生産とその米を使用した長農産日本酒製造」「米醤油製造にむけた米栽培」のテーマで多くの皆様の力をお借りしながら挑戦しています。今年は酷暑による大変な状況でしたが、無事、収穫作業を終了しました。新米ができあがりました。みなさん食べてください。



園芸科学コース



草花専攻は課題研究の花壇班が正門脇の花壇制作を行い、その取組をまとめ花いっぱいコンクールに応募しました。その他の班はトルコギキョウの根と倒伏との関係、ハーブの防虫効果などの研究に取り組んでいます。また、10月28日開催のがおか農業祭や文化祭での花販売に向けシクラメンの管理などを行っています。バイテク専攻は桜の茎頂培養、ビオラなどの無菌播種、インビトロフラワーなど研究をすすめ、両専攻とも文化祭の中間発表に向けてポスター制作に取り組んでいます。



外部連携



スノーフード長岡ブランド協議会（代表 鈴木将様）と本校との連携事業で、現在、肴豆味噌を製造しています。昨年度製造した肴豆味噌を雪室熟成させ、春に製品として袋詰めを行いました。味は、旨味が強いまろやかな味に仕上がりました。

そのお披露目会に生徒・職員で参加し、試食とマスコミへのPR活動をして参りました。（現在は好評で品切れ中）

今年度も昨年度同様、仕込みを行い、肴豆は本校作物生産コースで作った豆も用い、米麹は越のむらさき、塩は笛川流れの自然塩を用いて食品科学科で製造しました。現在は本校の味噌蔵にて熟成中で秋には詰め替えて+雪室で熟成予定です。今年度製造味噌は、来年度に商品として長岡駅のぽんしゅ館などに並び、協議会参加の飲食店にて料理などに引き続き使用される予定です。



栄養化学コース 代表
3年4組 小形明日香、川上華暖
半藤 愛、山崎埜乃

生徒の声
昨年度先輩達が
製造し雪室で熟成
した肴豆味噌のお披露目会に
参加し、試食をさせて頂きました。
とてもおいしい料理にして
頂き驚きを隠せませんでした。
来年度も私達が製造に携わった
肴豆味噌がこんな風においしく、
食べた方を笑顔にできる
かと思うと今から楽しみです。

ニュース動画は[こちら▶](#)



家庭科の授業で地元の発酵・醸造の町「揖斐屋」のまち巡りをとおして、みそやしょうゆ、麹などの発酵調味料や長岡野菜について学び、発酵調味料と長岡野菜を使ったお米バーガーのレシピを考えて新潟県主催の「第2回新潟県お米バーガー甲子園 2023」に応募したところ、応募総数 57レシピの中から本校の2つのレシピが入賞し、10月1日に最終審査会が行われました。結果、米粉バーガー（米粉パン）部門で最優秀賞「コメパンマン賞」を受賞することができました。

入賞した2つのレシピはコラボ企業により商品化され、期間限定で販売されることになりました。

生徒の声

まさか受賞できるなんて考えてもいなかったのでビックリしました。米バーガーのレシピ作りをとおして商品開発の難しさを学ぶとともに、貴重な経験ができました。



米粉バーガー部門 最優秀賞

チーム名: ホワツ・クッキング
3年1組 小熊うらら、星野愛和、渡部美桜
販売場所: 道の駅国上内「パン日和のらの休日」(燕市)
10月28・29日、11月4・5日

ごはんバーガー部門 入賞

チーム名: ホワツ・クッキング
3年4組 牛脇真緒、渡邊 誉、和田 春
販売場所: 道の駅天領の里(出雲崎町)
10月22日~12月26日



春から秋にかけての 実習風景



PTA前期研修

6/30
金

行先：新潟県農業大学校／カーブドッヂ（見学・昼食）

1年P

卒業生のお母さんからPTA研修は楽しいから参加した方がよいと教えてもらい、今回参加しました。農業大学校の見学はなかなかできないので、スマート農業の取り組みや牛舎を見ることができて良かったです。カーブドッヂでのランチはとても美味しく、贅沢な時間を過ごせました。先生方や先輩方のお母さんたちの話もとても楽しく、今後の学校生活に生かせると良いなと思いました。また来年度も参加したいと思います。



1年P

初めてPTA研修に参加させて頂きました。先輩保護者に勧められての参加で、友人もいないので参加を迷いましたが、結果参加して良かったことしかありませんでした。農業大学校の見学では、長農卒業生の話が聞けましたし、お昼には美味しいランチと他の参加者との交流ができたりしました。来年も絶対に参加します。



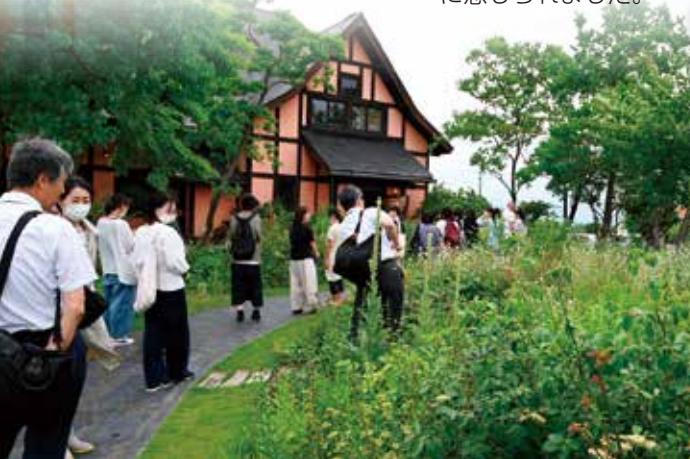
2年P

天候に恵まれなかったものの、農業大学校は子どもたちの進路を決める上で実際に見学し、とてもためになりました。昨年同様ランチに期待して参加しましたが、心も胃袋も至福の体験をさせて頂きました。このような機会がないと親睦も深められないので、そういった意味でも貴重な場の研修会に参加させて頂いてとても楽しかったです。



2年P

子どもの進学希望先になるかもしれないと思い、参加申し込みをしました。農業大学校では、これからスマートで持続可能な農業をめざすことができました。人材育成に力を入れ、人に優しい仕事になっていくのだと思いました。続くカーブドッヂ、そら野ファームでは、それらが形となって実を結んでいくように感じられました。



3年P

今回の研修旅行は新潟農業大学校でした。広大な敷地面積の中に、稲作経営科、園芸経営科、畜産経営科があり、各担当の先生のお話を聞き、なにより頑張っている長農卒業生達から実際に話を聞き、さらに活躍していくのだろうと思いました。また、先生や保護者とのランチも楽しい時間でした。



3年P

初めて農業大学校へ見学に行き、農業経営者になるために、また、即実践できるよう基礎から資格取得、最近の技術まで学べる環境が備わっていることを知ることができました。機会があったら今度は子どもと一緒に来てみたいと思いました。カーブドッヂでの食事も大変美味しかったです。先生とのお話しとてもためになりました。PTA

の役員や先生方、企画運営をしてくださいありがとうございました。楽しい時間を過ごさせて頂きました。



